

遺伝子改変動物分野サイエンスセミナー

遺伝子改変技術を用いた X染色体不活性化の 制御機構の解明

小川 裕也 先生

Cincinnati Children's Hospital Medical Center

日時：平成27年 **12月8日(火)** **15:00** ~ 16:00

場所：**金沢大学医学部 F棟 1階 修士課程セミナー室**

生物種を問わずゲノム改変を可能にした近年のゲノム編集技術の発展は、生命・医学科学研究に大きなインパクトを与えている。特に2013年に登場したCRISPRは、その簡便さや効率の高さから多くの研究者が活用し始めている。

我々の研究室では、遺伝子ターゲティング、ゲノム編集を利用し、長鎖非コードRNA研究の良いモデルシステムであるX染色体不活性化の研究を行っている。X染色体不活性化では、長鎖非コードXist RNAによるエピジェネティック修飾を介したクロマチン構造変換、転写制御が発生過程において厳密に制御されている。今回のセミナーでは、X染色体不活性化において中心的役割を果たす非コードXist RNA の役割について我々の研究室の最近のデータを、ゲノム編集技術を交えて紹介したい。

脳医科学専攻のUp-to-Dateセミナーとして単位認定(0.2単位)

連絡先：学際実験科学センター 遺伝子改変動物分野 大黒 多希子

TEL: 076-265-2460 E-mail: tdaikoku@kiea.m.kanazawa-u.ac.jp

後援：金沢大学十全医学会